

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-257185

(43)Date of publication of application : 25.09.1998

(51)Int.Cl.

H04M 3/42  
G06F 17/60

(21)Application number : 09-081865

(71)Applicant : RIZOOMU:KK

(22)Date of filing : 13.03.1997

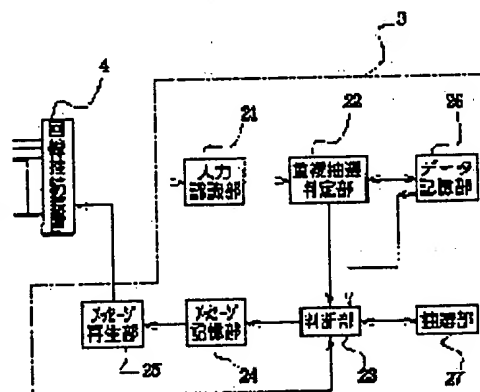
(72)Inventor : NAKAYAMA HIROMITSU

## (54) TELEPHONE LOT DRAWING DEVICE

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a telephone lot drawing device in which the fairness of drawing lots can be ensured by excluding the plural drawing lots of the same person, and the congestion of a telephone line can be canceled.

**SOLUTION:** This device is provided with a line connecting device 4 which connects a telephone line with a telephone terminal, input recognizing part 21, message storing part 24 which stores a message such as an applicant ID input request, message reproducing part 25, and lot drawing part 27. Also, this device is provided with a data storing part 26 which stores a drawing lot result obtained by the lot drawing part 27 and the fact that the applicant ID is used for drawing lots, and an overlapped drawing lot judging part 22 which excludes the drawing lots of this applicant when the already lot drawing applicant ID stored in the data storing part 26 is made coincident with the inputted applicant ID. The line connecting device 4 can be independently connected with the telephone lines of plural telephone numbers at the same time, and a different message group for requesting a different input for each incoming telephone number or each ID for deciding a condition inputted from the telephone terminal can be reproduced.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 03.03.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 18.05.1999

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

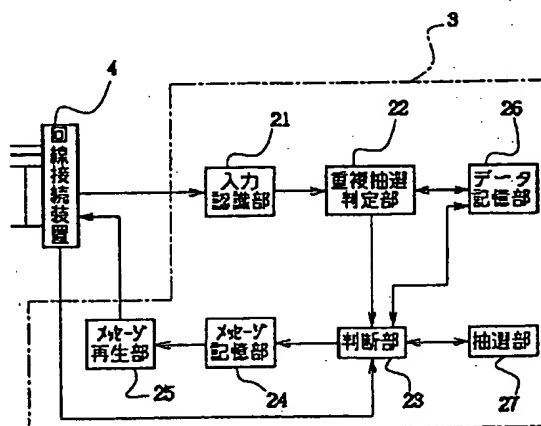
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(11)特許出願公開番号



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話端末(2a)からの入力に基づいて抽選を行う電話抽選装置であって、前記電話端末(2a)に対する電話回線(2b)を接続する回線接続装置(4)と、前記電話端末(2a)からの入力を認識する入力認識部(21)と、申込者IDの入力を要求する等のメッセージを記憶するメッセージ記憶部(24)と、このメッセージを前記電話端末(2a)に順次通知するメッセージ再生部(25)と、前記入力に基づいて抽選を行う抽選部(27)と、前記抽選部(27)による抽選結果及び前記入力のうちの申込者IDが抽選に使用された旨を少なくとも記憶するデータ記憶部(26)とを備え、このデータ記憶部(26)に記憶された抽選済みの申込者IDと前記入力された申込者IDとが同一の場合にこの申込者の抽選を排除する重複抽選判定部(22)を設けたことを特徴とする電話抽選装置。

【請求項2】 前記回線接続装置(4)が複数の電話番号に係る前記電話回線(2b)と独立して同時接続可能であり、前記メッセージ記憶部(24)が複数種のメッセージ群(Ta~Te)を記憶しており、前記メッセージ再生部(25)が着信した電話番号別に異なった入力を要求する異なるメッセージ群(Ta~Td)を再生することを特徴とする請求項1に記載の電話抽選装置。

【請求項3】 前記メッセージ記憶部(24)が複数種のメッセージ群(Ta~Te)を記憶しており、前記メッセージ再生部(25)が前記電話端末(2a)から入力された条件決定用ID別に異なった入力を要求する異なるメッセージ群(Ta~Td)を再生することを特徴とする請求項1又は2のいずれかに記載の電話抽選装置。

【請求項4】 前記条件決定用IDが前記申込者IDの少なくとも一部である請求項1~3のいずれかに記載の電話抽選装置。

【請求項5】 申込者IDが抽選に使用された旨を記憶する複数の既使用記憶領域(F1, F2)を前記データ記憶部(26)が備え、異なる前記メッセージ群(Ta~Td)を使用する度に前記既使用記憶領域(F1, F2)を異なるものに切り替えることを特徴とする請求項2~4のいずれかに記載の電話抽選装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電話端末からの入力に基づいて抽選を行う電話抽選装置に関するものであって、例えば、商品の当選を伴うマーケティング等での抽選や、テニスコート等公共施設の予約抽選等に用いることの可能な電話抽選装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来の電話抽選装置に関連する参考技術としては、例えば、特開平7-131533号公報に記載の如き「抽選申込み受付システム」が知られている。

同システムは、公共施設の電話抽選予約における職員の仕事処理負担や入力ミス等を解消することを目的としている。そして、電話から入力されるブッシュ信号等の認識部、入力された信号の妥当性等を判断する判断部及び入力促進のメッセージ等を再生する音声制御部等を備えている。

【0003】しかし、同受付システムでは、単に抽選の予約を受け付けるだけであり、同一の者が複数回の抽選申し込みを行った場合に、これを排除することができなかった。その結果、電話を多数回かけて多数回抽選申込みをする者の当選確率が上昇したり同一人が複数回当選する事態により抽選の公正さが維持できなかった。また、同一人の多数回の申し込みにより電話回線が混雑して抽選に支障を来すおそれがあった。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】かかる従来の実状に鑑みて、本発明の目的は、同一人の複数抽選を排除することにより、抽選の公正さを確保すると共に電話回線の混雑を解消することの可能な電話抽選装置を提供することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明に係る電話抽選装置の特徴は、電話端末に対する電話回線を接続する回線接続装置と、前記電話端末からの入力を認識する入力認識部と、申込者IDの入力を要求する等のメッセージを記憶するメッセージ記憶部と、このメッセージを前記電話端末に順次通知するメッセージ再生部と、前記入力に基づいて抽選を行う抽選部と、前記抽選部による抽選結果及び前記入力のうちの申込者IDが抽選に使用された旨を少なくとも記憶するデータ記憶部とを備え、このデータ記憶部に記憶された抽選済みの申込者IDと前記入力された申込者IDとが同一の場合にこの申込者の抽選を排除する重複抽選判定部を設けたことにある。

【0006】同特徴によれば、メッセージ記憶部及びメッセージ再生部より求められ且つ入力された申込者IDにより、抽選申込者の特定がなされる。「申込者ID」とは、カード会員の会員番号、電話番号、あらかじめ個人別に送付したダイレクトメール等に記入した個人を特定する番号等であり、したがって、この抽選申込者の特定により、申込者層別の各種情報を入手することが可能となる。そして、重複抽選判定部は、データ記憶部に記憶された抽選済みの申込者IDと前記入力された申込者IDとが同一の場合にこの申込者の抽選を排除するので、一度当該申込者IDを用いた者は抽選を実施し当選することが不可能となる。

【0007】また、本発明の他の特徴は、前記回線接続装置が複数の電話番号に係る前記電話回線と独立して同時接続可能であり、前記メッセージ記憶部が複数種のメッセージ群を記憶しており、前記メッセージ再生部が着

信した電話番号別に異なった入力要求する異なるメッセージ群を再生することにある。同特徴によれば、例えば、「地域別」や「性別」により異なった着信電話番号をあらかじめ申し込み予想者に通知しておくことで、この着信電話番号別に、すなわち、申し込み予想者の種別に応じた内容のメッセージを再生することができる。それに伴って、申し込み予想者の種別に応じた前記各種情報を入手することが可能となる。

【0008】本発明のさらに他の特徴は、前記メッセージ記憶部が複数種のメッセージ群を記憶しており、前記メッセージ再生部が前記電話端末から入力された条件決定用ID別に異なった入力要求する異なるメッセージ群を再生することにある。同特徴によれば、例えば「地域別」や「性別」により異なった条件決定用IDをあらかじめ申し込み予想者に通知しておくことで、上記他の特徴と同様に申し込み予想者の種別に応じた内容のメッセージを再生することができる。特に、例えば、「会員番号の最後の桁により性別を判断する」等、前記条件決定用IDを前記申込者IDの少なくとも一部としてもよい。さらに、会員番号等の申込者IDの全てを条件決定用IDとしても構わない。例えば、ゴールドカードを所持する会員や利用頻度の高い会員の会員番号が入力された場合、特別なメッセージを再生するようにメッセージ記憶部等を構成することができる。

【0009】一方、本発明の別の特徴は、本発明の上記他の特徴又は上記さらに他の特徴において、申込者IDが抽選に使用された旨を記憶する複数の既使用記憶領域を前記データ記憶部が備え、異なる前記メッセージ群を使用する度に前記既使用記憶領域を異なるものに切り替えることにある。同特徴によれば、例えば、着信電話番号別や条件決定用ID別に異なる賞品に関する抽選キャンペーンを行い、当該キャンペーン別に適切なメッセージ群を再生すると共に、当該キャンペーン別に重複抽選の排除を行うことができる。

【0010】

【発明の実施の形態】次に、図面を参照しながら、本発明の実施形態について説明する。図1は、電話抽選装置1のハードウェア構成の概要を示す。この電話抽選装置1は、複数の電話端末2aと接続される複数の電話回線2bと、パーソナルコンピュータ3と、回線接続装置4とを備えている。回線接続装置4は、音声再生機能を有し、複数の電話回線2bと独立して同時接続可能であり、パラレルポートやシリアルポートによりパーソナルコンピュータ3のバス6に接続されている。

【0011】パーソナルコンピュータ3としては、汎用品を用いており、入出力コントローラ7によってコントロールされるデータバス、アドレスバスを含むバス6に対し、中央演算装置8、メモリ装置9及びハードディスク10が接続されており、ハードディスク10にソフトウェアを組み込むことで、以下に述べる各種機能

を実現する。このソフトウェアは、フレキシブルディスク、CD-ROM、リムーバブルディスク、磁気テープ等の記録媒体（記憶媒体）に記録可能である。また、このパーソナルコンピュータ3は、バス6に接続されるマウス11、キーボード12及びCRT装置13を介して操作され、回線接続装置4を介しての入力に回答して動作する。さらに、パーソナルコンピュータ3は、回線接続装置4及び電話回線2bを介して電話端末2aに音声メッセージを伝達する。

【0012】図1及び図2に示すように、回線接続装置4は、複数の電話回線2bのうち着信した電話回線2bの電話番号を認識すると共に、複数の電話回線2bと独立して同時接続が可能である。回線接続装置4からの出力は、パーソナルコンピュータ3の入力認識部21において認識される。この入力認識部21は、電話端末2aからの最初の入力により電話端末2aがプッシュボタン又はダイヤルパルスのいずれであるかを選択し、この選択に基づいて電話端末2aからのテンキー入力を認識する。もちろん、音声認識モジュールをこの入力認識部21に組み込んでも構わない。重複抽選判定部22は、データ記憶部26のデータに基づいて申込者IDが既に使用されたものである場合にその抽選を排除する。

【0013】判断部23は、入力認識部21での入力認識結果に基づいて、メッセージ記憶部24に記憶されたメッセージから適当なものを適宜選択すると共にメッセージ再生部25によりこれを再生し、当該メッセージを回線接続装置4を介して電話端末2aに音声で伝達する。抽選部27は、例えば、1～6等の各等毎に一定確率の乱数を発生させることで、いずれかの等に当選する抽選を行う。

【0014】本実施形態では、東日本及び西日本地域のそれぞれに対し、広告などで別々に二つの着信電話番号（抽選受付番号）を通知している。また、複数の電話回線2bは、それぞれ二つの着信電話番号に割り付けてある。さらに、申込者IDとして会員番号の入力を要求するのであるが、この会員番号は、例えば「123451」と6桁の数字よりなり、最後の桁が1の場合には男性会員であり、0の場合には女性会員であることとしている。すなわち、着信電話番号が東日本か西日本のものであるか、または、男性または女性会員であるかによって、メッセージ記憶部24のメッセージを切り替える。従って、本実施形態では、申込者IDの一部である最後の桁が条件決定用IDとなっている。

【0015】図4は、図2の論理ブロック図におけるファイル構造をさらに詳述したものである。重複抽選判定部22及び判断部23は、汎用のデータベースソフトウェアよりなるデータベースエンジンDbと、このデータベースエンジンDbに読み込まれてメッセージ記憶部24、メッセージ再生部25及びデータ記憶部26を制御する条件テーブルTxとを備えている。メッセー

記憶部24は、音声ファイルの集合体である五つのメッセージ群Ta~Teを有しており、各メッセージ群Ta~Teは、複数の音声メッセージを有している。条件テーブルTxは、回線接続装置4が東日本の電話番号で着信しているときにはメッセージ群A(Ta)又はメッセージ群B(Tb)を使用し、西日本の着信電話番号で着信しているときにはメッセージ群C(Tc)又はメッセージ群D(Td)を使用する旨を記憶している。また、条件テーブルTxは、入力認識部21において申込者IDの最終桁数が1のときにはメッセージ群A(Ta)又はメッセージ群C(Tc)のいずれかを使用し、0のときにはメッセージ群B(Tb)又はメッセージ群D(Td)のいずれかを使用する旨を記憶している。メッセージ群E(Te)は、着信電話番号や条件決定用IDに拘わらず共通に使用されるメッセージを含んでいる。条件テーブルTxでは、メッセージ再生部25、データ記憶部26及び抽選部27を制御するための条件式がマクロ言語などにより記録されている。

【0016】データ記憶部26は、申込者ID毎に既抽選を示すフラグ、当選賞及び各種アンケート回答結果などのフィールドを有するIDテーブルT10を備えている。また、データ記憶部26の残り賞テーブルT20は、1~6等賞毎に残り賞の数量を記録する。データ記憶部26の仮テーブルTyは、当選賞や各種アンケートの結果を申込者ID毎に記憶する。

【0017】次に、図1、2及び4とともに図3を参照しつつ、本発明に係る電話抽選装置1の動作について説明する。パーソナルコンピュータ3においては、データベースエンジンDb、仮テーブルTy、IDテーブルT10、残り賞テーブルT20及びメッセージ群E(Te)がハードディスク10からメモリ装置9に読み込まれ、重複抽選判定部22及び判断部23が動作可能な状態になっている。電話端末2aから電話回線2bを介して回線接続装置4に電話があると、回線接続装置4はその着信した電話回線2bを接続処理し(S1)、着信電話番号を判定すると共に(S2)、その着信電話番号又は使用電話回線2bを判断部23に入力し同時に仮テーブルTyに記憶する。そして、メッセージ記憶部24のメッセージ群E(Te)に基づき申込者IDの入力を求める(S3)。入力認識部21は、電話端末2aからの最初の申込者ID入力が入力ボタンであるかダイヤルパルスであるかを判別し、いずれか一方の方式にて電話端末2aからのテンキー入力を判定する。

【0018】重複抽選判定部22としてデータベースエンジンDbが機能する際には、入力認識部21により認識された申込者IDがIDテーブルT10のデータのいずれか一つと一致するか否かが条件テーブルTxの条件に従い判定される。一致するデータがある場合は、申込者IDは正当と判断され(S4)、ステップS6に進む。一致するデータがない場合は、メッセージ

群E(Te)に記憶された「申込者IDが不適合である」旨のメッセージが音声にて通知され(S5)、回線が切断される(S21)。また、IDテーブルT10の既抽選フラグが立っていない場合には、申込者IDが未使用と判断され(S6)、仮テーブルTyにおける当該申込者IDの既抽選フラグを立てると共に次のステップS8に進む。IDテーブルT10の既抽選フラグが立っているときには、「重複抽選が不可能である」旨が通知され(S7)、回線が切断される(S21)。

【0019】次のステップS8では、着信電話番号及び申込者IDの最終桁により、メッセージ群Ta~Tdのいずれが使用されるかが条件テーブルTxに従って決定される。例えば、東日本用の電話番号に着信した女性会員の場合には、メッセージB(Tb)が使用され、使用テーブルの種別が仮テーブルTyに記録される。

【0020】続くステップS9では、メッセージ群Ta~Td別に異なるメッセージ内容にて各種アンケートの回答入力が必要とされる。この入力要求は入力があるまで複数回繰り返される(S10)。なお、ステップS9及びS10はそれぞれのみ表示してあるが、これらは一のものに限らず、複数種のものを連続させるとよい。ステップ9でのアンケート入力結果も仮テーブルTyに記録される(S11)。

【0021】次のステップS12では、抽選開始の旨が通知されると共に、メッセージ再生部25を介してルーレット音が再生される。メッセージE(Te)に記憶されたルーレット停止入力を要求するメッセージが再生され(S13)、電話端末2aのいずれかのキーの入力又はタイムリミットにより乱数が発生し、抽選が行われる。抽選結果がメッセージ再生部25により電話端末2aに通知され(S14)、仮テーブルTyの内容及び当選賞がIDテーブルT10の該当申込者IDのレコードに本記憶されると共に(S15)、残り賞テーブルT20における当選賞の残り賞の数を更新する(S16)。

【0022】次いで、必要に応じて申込者の住所等の入力を音声で要求すると共に(S17)、その音声回答が音声ファイルとしてIDテーブルT10に記憶される(S18)。また、当選賞の受け取り時における本人確認を行うためのパスワードたる抽選番号を乱数により発生させ、メッセージ再生部25を介して通知すると共にその当選番号をIDテーブルT10に記録する(S19)。その後、商品PRなどの各種案内が音声により通知された後(S20)、回線が切断されて(S21)、全行程が終了する。

【0023】続いて、本発明の他の実施形態について説明する。データ記憶部26では、IDテーブルT10において申込者IDが抽選に使用された旨を記憶する記憶領域である既抽選フラグと仮テーブルT20とが各々一ずつであった。しかし、図5に示すように、1の申込

者IDのフィールドF0につき、2以上の異なる条件決定用IDに対応させて既抽選フラグのフィールドF1、F2を2以上設けると共に、残り賞テーブルを2以上ずつ設けてもよい。この場合、図3のステップS3においてあらかじめ申込者に通知した条件決定用IDの入力を求め、このIDにより、メッセージA、C (Ta、Tc) のいずれを使うか、又は、メッセージB、D (Tb、Td) のいずれを使うかの判断を行うようにしてもよい。本実施形態によれば、異なる賞品キャンペーン別に適切なメッセージを再生すると共に、当該キャンペーン別に重複抽選を排除する。すなわち、当該キャンペーンが異なることによる当選の可能性を確保し、キャンペーン別の当選管理が可能となる。勿論、着信電話番号別に既抽選フラグを立てるように構成することも可能である。

【0024】上記申込者IDとしては、上記実施形態において会員番号を使用したか、その他、電話番号や申込者毎にあらかじめダイレクトメールなどで連絡したIDを用いても構わない。

【0025】上記実施形態では、IDテーブルT10に何等の賞が当選したかのデーターを記憶させた。これに限らず、この記憶される当選賞のデーターは、相当商品と交換可能なカードの点数として記録させることも可能である。

【0026】回線接続装置としては、ボイスモデムやISDN用のターミナルアダプターを用いてもよい。また、電話端末2aは、音声データーに限られず、パーソナルコンピューターを利用した端末などを用いてテキスト表示により各種メッセージを表示させてもよい。同時に、入力データーをテンキー以外のアスキーコードより入力させることも可能である。

【0027】申込者IDである会員番号を、条件決定用IDの全てとしてもよい。この場合、ゴールドカードや利用頻度が一定以上である会員には特別なメッセージ群を割り当てるように、条件テーブルTxにおけるメッセージ群A～Dのいずれかと会員番号とを対応させる。

【0028】

【発明の効果】このように、上記本発明に係る電話抽選装置の特徴によれば、一度当該申込者IDを用いた者は抽選を受け且つ当選することが不可能となった。したがって、同一申込者IDに係る同一人の複数抽選を「物理的」に排除でき、抽選の公正さを確保すると共に、電話回線の混雑を解消して通信インフラストラクチャーの保全に貢献することが可能となった。また、同一人の複数抽選排除により、申込者IDに基づいて入手した申込者層別の各種情報に重複データが生じず、データー記憶部の記憶容量を節約できるようになった。

【0029】加えて、本発明の上記他の特徴及び上記さらに他の特徴によれば、着信電話番号別や条件決定用ID別に異なった内容の異なるメッセージを再生させると

いう構成を採用することで、申込み予想者の種別に応じた前記各種情報を入手することが可能となった。その結果、メッセージ記憶部のメッセージが万人を予想した冗長なものとならず、通信時間が短い割に効率的に各種情報を入手することが可能となった。しかも、着信電話番号別や条件決定用ID別に申込者IDや前記各種情報を整理できるので、情報の整理作業が物理的に軽減されることとなった。特に、前記条件決定用IDを前記申込者IDの少なくとも一部とすることで、申込者IDに含まれる性別等の情報を有効活用して、効率的なメッセージの伝達と前記各種情報の入手が可能となった。

【0030】一方、本発明の上記別の特徴によれば、着信電話番号別や条件決定用ID別に対応させたキャンペーン等毎に、前記各種情報整理や重複抽選の排除を行うことが可能となった。その結果、同一の装置を利用した複数キャンペーンの同時実施における情報管理をさらに行き易くすることができるようになった。

【0031】なお、特許請求の範囲の項に記入した符号は、あくまでも図面との対照を便利にするためのものにすぎず、該記入により本発明は添付図面の構成に限定されるものではない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る電話抽選装置のハードウェア構成を示す図である。

【図2】本発明に係る電話抽選装置の論理ブロック図である。

【図3】本発明に係る電話抽選装置の動作を示すフローチャートである。

【図4】本発明における重複抽選判定部、判断部、メッセージ記憶部、及びデーター記憶部のさらに詳細な構成を示す論理ブロック図である。

【図5】図4におけるデーター記憶部の別実施例を示す論理ブロック図の一部である。

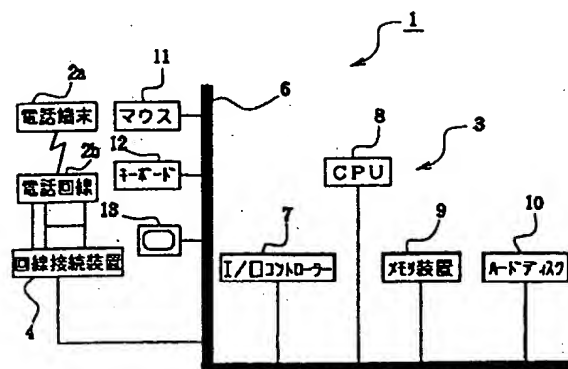
【符号の説明】

- 1 電話抽選装置
- 2a 電話端末
- 2b 電話回線
- 3 パーソナルコンピューター
- 4 回線接続装置
- 6 バス
- 7 入出力コントローラー
- 8 中央演算装置
- 9 メモリ装置
- 10 ハードディスク
- 11 マウス
- 12 キーボード
- 13 CRT装置
- 21 入力認識部
- 22 重複抽選判定部
- 23 判断部

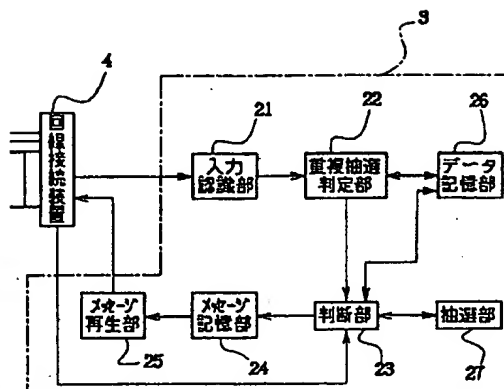
24 メッセージ記憶部  
 25 メッセージ再生部  
 26 データ記憶部  
 27 抽選部  
 Db データベースエンジン  
 Ta メッセージ群A  
 Tb メッセージ群B  
 Tc メッセージ群C

\*Td メッセージ群D  
 Tx 条件テーブル  
 Ty 仮テーブル  
 T10 IDテーブル  
 T20 残り賃テーブル  
 F0 申込者IDフィールド  
 F1 条件A用フラグフィールド  
 F2 条件B用フラグフィールド。

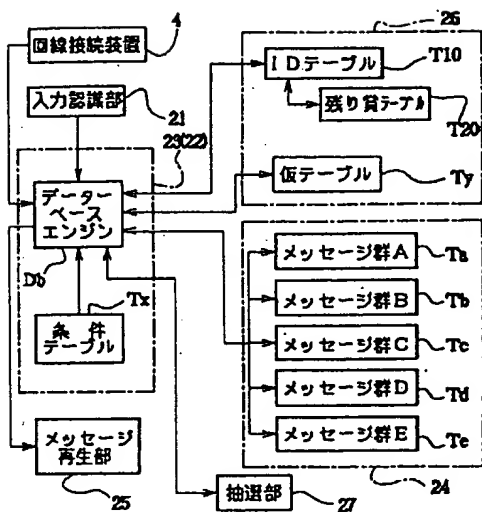
【図1】



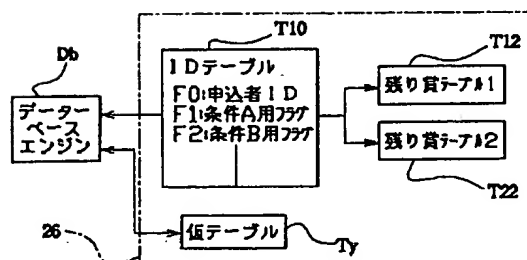
【図2】



【図4】



【図5】





【図3】

